

# 一般質問

九月定例会では、九人から一般質問が行われました。

## 町村合併に伴う支援策を



新改 幸一議員

北村町長 町村合併に伴い、伝票類の作り替え、看板等の書き換えにより、多額の出費が予想される。

このような出費は、企業・団体・個人業者など、ほとんどの分野に及ぶものと考えられる。本町の厳しい財政事情や、対象者が広範に及ぶことなどから、助成策については、無理と思われる。

なお、新町においては、中小商工業者を対象とした「中小小売店舗改造等補助事業」を創設し、予算の範囲内で事業実施していく計画である。

## 「ヤーコン」を使った

### 焼酎づくりを

新改議員 町村合併が進められるなか、基幹産業である「農業」を中心に、「自立」新時代に向けて、最大限の取り組みが求められる。その一環として、新町での特産品開発を進めていくことが重要と考える。

先般、常任委員会の所管事務調査で、水田転作

に、健康食品として人気の高い「ヤーコン」栽培に取り組み、ヤーコンを使った「ビール」づくりに取り組んでいるところを調査した。

このヤーコンは本町でも、わずかではあるが、栽培されている。転作田を活用したヤーコンの栽培を推進し、農家所得の



水田に植え付けられた「ヤーコン」(左上写真は、収穫されたヤーコン)

向上を図るとともに、空前的焼酎ブームのなか、ヤーコンを使った焼酎づくりを進める考えはないか。

### 詳しく調査したい

町長 南米アンデス原産の「ヤーコン」は、キク科に属し、イモを食する。生育適温は二五度前後で、

本町の場合、適地とはいえないようである。現在、本町でも栽培がなされていることから、詳しい調査を行い、産地化等について関係機関・団体とも協議をしていきたい。

焼酎づくりについては、その結果を踏まえて、対応したい。

### 対象者が広範

### 助成策は無理

新改 幸一議員 来年三月の新「さつま町」誕生に向けて、肅々と準備作業が進められている。町名・字名が変わることから、商工業者も伝票類やレッテル、出荷用段ボール等の作り替えが生じ、多額の出費増となる。商工会等と連携して調査を行い、助成措置を講じる考えはないか。